

## 著書

1. 長谷川稔. 強皮症とサイトカイン. 膠原病—診断と治療の最新ポイント—(皮膚から内臓へ), p2-3, 診断と治療社, 1997
2. 長谷川稔. ケモカイン, KEY WORD 1999-2000 皮膚疾患, p50-51, 先端医学社, 1999
3. Tedder TF, Hasegawa M. CD19, Wiley Encyclopedia of Molecular Medicine, p561-562, Jone Wiley & Sons. Inc., 2002
4. 長谷川稔. 膠原病に伴う難治性潰瘍の治療, 新・膠原病—診断と治療の最新ポイント—(皮膚から内臓へ), p294-297, 診断と治療社, 2002
5. 長谷川稔. Eosinophilia-myalgia syndrome, 新・膠原病—診断と治療の最新ポイント—(皮膚から内臓へ), p192-193, 診断と治療社, 2002
6. 長谷川稔. 結節性皮膚ループスムチン症, 新・膠原病—診断と治療の最新ポイント—(皮膚から内臓へ), p150-151, 診断と治療社, 2002
7. 長谷川稔. 日常生活指導, インフォームドコンセントのための図説シリーズ 膠原病 2. 全身性強皮症, p60-63, 医薬ジャーナル社, 2004
8. 長谷川稔. Raynaud 現象, カラーアトラス 皮膚診断の技法—皮膚を診ると全身が見える, p50-51, 診断と治療社, 2004
9. 長谷川稔. 皮膚症状, よくわかる強皮症のすべて, p100-105, 永井書店, 2004
10. 長谷川稔. スキン・スコア, よくわかる強皮症のすべて, p154-156, 永井書店, 2004
11. 長谷川稔. 患者指導, よくわかる強皮症のすべて, p271-275, 永井書店, 2004
12. 長谷川稔. 竹原和彦. 強皮症, 皮膚免疫ハンドブック 第2版, p295-302, 中外医薬社, 2005
13. 長谷川稔. リウマチ・膠原病の成因に迫る/強皮症モデルマウスとしての TSK マウスの最新知見 リウマチ・膠原病最新トピックス—変わりゆく研究と診療—, p59-61, 診断と治療社, 2005
14. 長谷川稔. リウマチ・膠原病の新しい病態・疾患概念と診断法/抗プロトンビン抗体による抗リン脂質抗体症候群. リウマチ・膠原病最新トピックス—変わりゆく研究と診療—, p129-130, 診断と治療社, 2005
15. 長谷川稔. 膠原病の難治性病態とその新規治療/膠原病に対する抗 CD20 抗体療法. リウマチ・膠原病最新トピックス—変わりゆく研究と診療—, p151-152, 診断と治療社, 2005
16. 長谷川稔. 抗リン脂質抗体症候群の皮膚科学的意義, 先端医療シリーズ 38 皮膚科/皮膚疾患の最新医療, p157-160, 先端医療技術研究所, 2006

17. 長谷川稔. 強皮症のすべて/福祉その他. 強皮症のすべてがわかる本, p113-117, 保健同人社, 2008
18. 長谷川稔. 強皮症の用語解説/重症認定. 強皮症のすべてがわかる本, p132, 保健同人社, 2008
19. 長谷川稔. 強皮症の用語解説/身体障害者認定. 強皮症のすべてがわかる本, p133, 保健同人社, 2008
20. 長谷川稔. 皮膚の構造と機能/皮膚の物理的防御. よくわかる病態生理 9 皮膚疾患, p10-12, 日本医事新報社, 2008
21. 長谷川稔. 皮膚の構造と機能/皮膚の免疫防御. よくわかる病態生理 9 皮膚疾患, p13-16, 日本医事新報社, 2008
22. Hasegawa M, Sato S. Connective tissue diseases, Therapy of Skin Diseases, Springer-Verlag, Berlin, Krieg T, Bickers DR, Miyachi Y (eds.), p407-426, 2010
23. 長谷川稔. 強皮症のステロイド適応は?. WHAT' S NEW in 皮膚科学 膠原病・血管炎 メディカルレビュー社, p138-139, 2010
24. 長谷川稔. 学童・思春期/皮膚筋炎. 小児科臨床ピクシス 17/年代別子どもの皮膚疾患, 五十嵐隆総編集, 中山書店, p124-125, 2010
25. 長谷川稔. 仮面様顔貌(全身性強皮症). 皮膚で見つける全身疾患, メディカルレビュー社, 宮地良樹編集, p34, 2011
26. 長谷川稔. 舌小帯短縮(全身性強皮症). 皮膚で見つける全身疾患, メディカルレビュー社, 宮地良樹編集, p55, 2011
27. 長谷川稔. 爪かく部出血点(全身性強皮症、皮膚筋炎). 皮膚で見つける全身疾患, メディカルレビュー社, 宮地良樹編集, p118, 2011
28. 長谷川稔. レイノー現象(全身性強皮症). 皮膚で見つける全身疾患, メディカルレビュー社, 宮地良樹編集, p128, 2011
29. 長谷川稔. 9. クリオグロブリン血症. 皮膚症状からみた血管炎診断の手引き. 厚生労働省難治性血管炎に関する調査研究班, 金原出版, p78-80, 槇野博史、能勢真人監修, 2011
30. 長谷川稔. 11. リベド血管症. 皮膚症状からみた血管炎診断の手引き. 厚生労働省難治性血管炎に関する調査研究班, 金原出版, p83-85, 槇野博史、能勢真人監修, 2011
31. 長谷川稔. 6. 膠原病のかゆみと治療. 臨床医必携-全身とかゆみ. 診断と治療社, p158-161, 宮地良樹編集, 2011
32. 長谷川稔. 30. 血行障害性疾患とその病態. 皮膚科臨床アセット 5: 皮膚の血管炎・血行障害. 中山書店, p166-171, 古江増隆総編集, 勝岡憲生専門編集, 2011

33. 長谷川稔. 31. 血行障害を示す皮膚症状とは. 皮膚科臨床アセット 5: 皮膚の血管炎・血行障害. 中山書店, p172-177, 古江増隆総編集, 勝岡憲生専門編集, 2011
34. 長谷川稔. 1. 抗核抗体の読み方. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p2-7, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
35. 長谷川稔. 71. 抗リン脂質抗体症候群で検出される自己抗体. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p297-300, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
36. 長谷川稔. 72. 抗リン脂質抗体症候群で検出される自己抗体. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p301-303, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
37. 長谷川稔. 73. 抗リン脂質抗体症候群の診断基準・治療・予後と経過. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p304-307, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
38. 長谷川稔. 74. 劇症型抗リン脂質抗体症候群の病態・診断・治療. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p308-310, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
39. 長谷川稔. 79. 血球貪食症候群の病態と治療. 皮膚科臨床アセット 7: 皮膚科 膠原病のすべて. 中山書店, p328-331, 古江増隆総編集, 佐藤伸一専門編集, 2011
40. 長谷川稔. 皮膚筋炎. 今日の皮膚疾患 治療指針. 医学書院, p454-456, 塩原哲夫、宮地良樹、渡辺晋一、佐藤伸一編集, 2012
41. 長谷川稔. 膠原病. 創傷のすべてーキズをもつすべての人のためにー. 克誠堂出版, p148-152, 市岡滋監修、安倍正敏、溝上祐子、寺師浩人編集, 2012
42. 長谷川 稔. 皮膚硬化. 皮膚科分野監修: 宮地良樹. 今日の臨床サポート. 永井良三、福井次矢、木村健二郎、上村直実、桑島巖、今井靖、嶋田元、編. エルゼビア・ジャパン、2013 (ウェブサイト: <http://clinicals.jp/jpoc/>)
43. 長谷川 稔. 皮膚創傷に用いられる外用薬. 古江増隆、尹浩信編. 皮膚科臨床アセット 12 新しい創傷治療のすべて 褥瘡・熱傷・皮膚潰瘍. 中山書店. 2013:17-22.
44. 長谷川 稔. 皮膚創傷に対するドレッシング材の使い方. 古江増隆、尹浩信編. 皮膚科臨床アセット 12 新しい創傷治療のすべて 褥瘡・熱傷・皮膚潰瘍. 中山書店. 2013:23-28.
45. 長谷川 稔. 局所感染を制御する. 尹 浩信、谷岡未樹編. 創傷と痛み 痛みのある皮膚の傷をどう治す? どう対処する? 金原出版. 2013:84-95.
46. 長谷川 稔. レイノー現象をみたときの対処法の決め手ー意味のあるレイノーか? 診断の解決法は? 宮地良樹編. 苦手な外来皮膚疾患 100 の解決法~そのとき達人はどのように苦手皮膚疾患を克服したか? ~ メディカルレビュー社. 2014:92-93.

47. 長谷川 稔. 強皮症の治療はどこまで進歩したか? 宮地良樹編. WHAT' S NEW in 皮膚科学 2014-2015. メディカルレビュー社. 2014:116-17.
48. 長谷川 稔. 皮膚硬化. 皮膚科分野監修: 宮地良樹. 今日の臨床サポート (改訂第 2 版). 永井良三、木村健二郎、上村直実、桑島巖、今井靖、名郷直樹編. エルゼビア・ジャパン、2014 (ウェブサイト : <http://clinicalsup.jp/jpoc/>)
49. Hasegawa M. Biomarker. Systemic Sclerosis:Recent Advance in Basic and Translational Research. Edited by Takehara K, Fujimoto M, Kuwana M. Springer・Japan. 2015:211-29.
50. 長谷川 稔. 慢性色素性紫斑. 福井次矢、高木誠、小室一成編. “今日の治療指針 私はこう治療している Today' s Therapy 2015” 医学書院. 2015:1148.
51. 長谷川 稔. 皮膚筋炎. 渡辺晋一、古川福実編. 皮膚疾患. 最新の治療 2015-2016. 南江堂. 2015:83-84.
52. 長谷川 稔. 強皮症の皮膚潰瘍にエンドセリン受容体拮抗薬は有用か? 宮地良樹編. EBM 皮膚疾患の治療 up-to-date. 中外医学社. 2015:90-92.
53. 長谷川 稔. 膠原病検査法. 宮地良樹編. 定番 皮膚科外来検査のすべて. 文光堂. 2015:102-05.